

ニュースレター No.18

発行：2002年5月

◆野川・里山探検隊「春の調布をおいしくいただきました！」

「先生！この野草食べられる？」「それは食べても美味しくないよ！」「あっ！ミツバ発見!!」「よく見つけたね♪」、講師と子どもの会話です。4月14日(日)、絶好の行楽日和。今年度はじめの『野川・里山探検隊』は、深大寺自然広場で春の野草観察と野草摘みを行い、その野草を天ぷらにして味わいました。

当日は60名程の隊員が参加、大人も入れると100名近い人数です。今回のリーダーは都立農業高校神代農場の小池さん、サブリーダーとして食べられる野草についてはプロ級の環境保全課のAさん、調布の自然をよく知っているWさんが大活躍でした。

やはり食べることにはみんな熱心なのか、親も子どもも目を輝かせて野草摘みをしていました。摘んだ野草は天ぷらにしましたが、ここでは探検隊のサポータ(市民有志)が大活躍でした。参加者の摘んだ野草に毒草が混ざっていないかチェックをし、天ぷらにしました。出来上がった天ぷらを「おいしい、おいしい」とみんな食べ、何度もおかわりをしていました。

『野川・里山探検隊』は子どもたちが調布の自然に親しみ、その大切さを知ってもらうために行っています。私自身東京で生まれ育ち、自然体験乏しい幼少時代を過ごしました。この仕事に携わらなければすぐそばにある「身近な自然」に気づくことも親しむことも無かったらと思うます。現在、調布の自然を守っていくと活動している市民も、子どもの頃に自然と慣れ親しんでいる方が多いようです。やはり子ども時代の経験「原体験」は大切ですね。(K)

◆野川・里山探検隊の年間計画表◆

6月	野川と湧水の水生物調査	11月	ドングリ工作
8月	カニ山キャンプ(1泊)	12月	春の七草さがし
9月	多摩川の水生物と秋の虫、 野鳥の観察	2月	炭焼きと木工細工 サポータを随時募集中!

※予定ですので変更になる可能性があります。

●ちょうふの自然

調布の環境マップの作成にモニターとして参加した。

長い間調布市民として感じていたその環境を実際に調査してみると、意外に異なった結果が得られた。すなわち緑が思っていたより多いことであった。また、公園といえば都立神代植物園が唯一のものと思っていたが、市内の所々に設置されている小公園や緑道といった所が市民の憩いの場となり、緑の集合地となっていることに気がついた。それだけ調布市として環境を重視した施策を実施して来ていることを痛感した。

一方世界をあげてCO₂等の削減等地球温暖化対策に取り組んでいる現在、調布市の環境はその一部の点にしかすぎない存在であるが、点を描いて線となし更に面に広げねばならない重要性を思い、環境モニターの存在がどこに必要であるかを考え、地球環境の改善の一端を担っていることを誇りに感じている。(深大寺東町 佐藤吉平)



食べられる野草の説明を聞く隊員



隊員が摘んだ野草の天ぷらを揚げる大人たち

調布にも食べられる野草がたくさん生えています。特集にその一部を掲載していますが、野川・里山探検隊では、確実に食べられる野草を天ぷらにして食べました。みなさんも身近な春の恵みを食べてみませんか？ただし、確実に食べられるものにして下さいね。毎年、毒性の野草を食べた中毒にかかる方々がいっぱいいます。知らない野草、わからない野草は食べないでください。

←「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニター活動の参加者の紀行文です。

一内容一

野川・里山探検隊
調布市内の活動報告
特集「食べられる野草」
イベント情報

調布市内での活動報告!

身近な川を見守る会

～水生生物調査～(野川エコスクール)

4/13(土)、野川は水量が少なく、水生昆虫たちが見つかるか心配したが、きれいな水にすむモンカゲロウ、ブコなどが生きていました。8年前にはいなかったヒラタドROMシが前回に続いて見つかるなど、生き物の生息環境がアップしていると思われる調査結果が出ました。(雨水浸透マスの成果か?)

その日のその時間の水質しかわからないパックテストの調査と違って、1~2ヶ月の川の状態を知ることが出来るのが水生生物調査の特徴です。もっといろんな団体がやってくれば面白いデータになると思います。



佐須用水が流れ込んでいる、細田橋下(調査地点N2)にて。

環境モニター活動

今春は桜をはじめ春の花の開花が早まり、「春の植物調査」は、『うっかり、のんびりしておれない』状況です。しかし調査対象のひとつクローバーは、「葉っぱだけでは、シロツメクサ(クローバー)なのかアカツメクサなのか分からないので、花が咲くのを待っている状態」との報告もありました。まめに歩いてみるしかないようです。

2002年度の活動テーマは、「私の好きな木・気になる木」と題して、調布の樹木に注目していくことに決めました。新しくモニターになられる方を対象にオリエンテーション(&観察会)を企画しました。経験・知識は問いません。ぜひご参加ください。(詳細は4Pをご覧ください)

こどもエコクラブ

春の自然調べ隊は、4月13日(土)午前9時、市役所裏に待つバスに五家族が集まり、日本野鳥の会東京支部2人とスタッフ合わせて20名で出発しました。柔らかい陽射しの好天に恵まれ、40分ほどで目的地、神奈川県立東高根森林公園に到着、備え付けのパンフレットを片手に園内一周のコースを巡りました。多摩丘陵の台地の上だけに季節は調布市より10日位遅めの感じで早春の野草が咲き残っていました。園内は程よく整備されていますが、県の天然記念物に指定されているシラカシ林など自然のまま残されている部分もあります。古代植物のエリアでは、ムラサキの白い花が満開でした。芝生の原っぱの木陰で弁当を食べ、エナガ、コガラ、ウグイス、シメなどすばしっこくて普段は余り目に止まらない小鳥をゆっくり見ることもしれました。エコクラブに最初から参加している子ども達が自然にとっても詳しくなり、もうサポーターを交代してもらいたいと思うほどです。春の一日を十分楽しみ、午後3時頃、みんな満足した顔で市役所裏に戻ってきました。



入間・樹林の会 ～春雨に濡れて植生調査～

4月21日、あいにくの雨にもかかわらず、熱心な入間・樹林の会メンバー16名が集まる。3班に分かれてあらかじめ設定されている8ヶ所の方形枠(1㎡)内の植生調査を実施。

おりから樹林内は、新芽が発散する甘い香りが充満、落葉があたたかい雨滴をいっぱい含み、柔らかいじゅうたんを敷き詰めたよう。急斜面の崖線を下って分担された方形枠の植生を丹念に調査・記録し、壊れた方形枠の補修をしました。作業の途中、前回の樹林内自然観察で「マムシグサかテンナンショウ」の発見が、今回横山譲二先生の鑑定でどうやら「ウラシマソウ」と判明したことも。植生調査のあと、北西に隣接する崖線の市有地を探索、樹林の範囲が拡幅される期待に参加者一同胸を弾ませました。

ちょうふ DE 田んぼ日記その12「田んぼの学校の開校だ！」

ところは国分寺崖線の谷戸に広がる佐須4丁目の一角。一面に咲くレンゲ畑が「田んぼの学校」の教室です。4月7日午後雨上がりののどかな日差しの中、今年で10年目を迎える田んぼの学校の開校式が8家族の参加で行われました。さわやかな風に誘われ、つい畑を駆けまわる子どもたちや犬。幼虫から羽化したばかりのテントウムシやレンゲの花にはせっせと蜜を集めるミツバチ。まさに春真っ盛り。サクラの開花同様に、田んぼの春も2週間ほど早いと農地を提供してくださる竹内さん。今年はエルニーニョの発生も予測され、長梅雨に冷夏でお米の収穫が懸念される。(受講生兼通信員 中原)



開校式の様子

特集 春のにおいと味も楽しもう！ 「食べられる野草」

うれしい春が（いつもより早く）やって来ました。野原や土手に緑がふえ、次から次へと春の花が咲き、木々も芽吹き始めるこの季節。見ていだけでも楽しいけれど、せっかくだから舌でも楽しんでみませんか？今回は「野川・里山探検隊」で食した野草を紹介しします。けれどわからない野草には絶対手をださないように！



茎がつまっているのは

ハルジオン

似ているけど
茎が中空なのが

ヒメジョオン



カキドオシ

生で食べるといい香り。
ハーブみたいでおいしい。



カラス/インドウ

マメの味がしておいしい。
けどアブラムシ注意して！



ノビル

若葉をくるくるっと巻いて
結んで天ぷらに。
子どもたちに好評でした。



ヤブガラシ

ザラッ、ヌメッとした
独特の舌触り。

木の芽もおいしい

チャ: 若芽の天ぷらはちょっと
苦味が残る大人の味。
クコ: 一度ゆがいて乾燥させて
お茶にしてもよし。

その他

- ミツバ** 言わずと知れたミツバの味
- カントウヨメナ** 若芽をご飯に混ぜてヨメナ飯に。
- ハコベ** めしべの先が3裂に分かれているのがハコベ。
- ウシハコベ** めしべの先が5裂に分かれているのがウシハコベ。
- ギシギシ** 株の中心の細長い芽を摘んで天ぷらに。ちょっとすっぱい。
- コオニタビラコ** 春の七草のホトケノザ。

イラスト：Sさん

「窓からの風景」

今年の春はサクラの異常な早さでの開花に始まり、カタクリ、ニリンソウ、シュンラン等がソメイヨシノと咲き競うという異常な春となりました。環境モニターのガイドウォークも、多くの植物観察が一回でできる、そんな感じでした。ある意味では、にぎやかな春であり、これまでに経験したことのない貴重な体験だったかもしれません。しかし、この事態が毎年続くととなるとノンビリしてはられないでしょう。原因は一つしか考えられません。想像を絶する地球温暖化の進行です。私たちは、地域と地球環境をこれ以上悪化させないために循環型社会の復活を目指し、里山と雑木林にそのモデルの一つをみだそうとしてきました。しかし、これ以上の温暖化の進行いかんでは、里山のメカニズム自体の崩壊ということも考えなければならぬのかもしれません。今朝（4月19日）の散歩では、青梅がぼとぼと落果しているのに出くわしました。強風の結果とはいえ、信じられないことです。小池氏の話によれば、温度が高いだけでなく季節自体が前倒しになっている感じとのこと。想像力が必要です。



可憐に咲くフデリンドウ

※今回で窓からの風景は終了です。次回よりこのコーナーは、市内の自然にかかわる活動をしているグループの紹介をします。

参加しませんか？

● 環境モニター オリエンテーション

～自然観察とモニター募集の説明会～

日時：5月11日(日) 10:00～12:00

集合場所：青渭神社前集合

持ち物：飲み物、筆記用具、動きやすい服装、
雨具(雨天時)等、雨天実施

調布の自然について学習し、環境モニター活動の説明を行います。私たちと一緒に活動する新規モニターの募集のための説明会です。お気軽にご参加ください。

● 入間・樹林の会 国分寺崖線の観察

～成城から調布までの国分寺崖線の散策～

日時：5月19日(日) 10:00～15:00

集合場所：砧支所(成城6-2-1)前(小田急線成城学園駅南口そば) バス停からスタッフが誘導します。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、図鑑等
小雨決行・荒天中止*

世田谷で活動しているボランティアとの交流を深めながら入間町の国分寺崖線と連なる世田谷の崖線を見学します。

※開催が危ぶまれる天候の場合は、当日の8時～8時半までに環境保全課へ電話でお問合せください。

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
5月2日(木) 13:30～15:00	せたがや トラスト協会	入間・樹林の会 企画打合せ 5月19日のイベントの打合せを世田谷の市民と実施
5月4日(土) 9:00～11:30	青渭神社前 集合	環境モニター 下見会 オリエンテーションに向けた下見を実施
5月7日(火) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境モニター 世話人会 オリエンテーションの最終調整や今後の活動について
5月8日(水) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	入間・樹林の会 世話人会 調査結果のふりかえりや国分寺崖線観察会の企画について
5月10日(金) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境市民懇談会 連絡会議 情報交換や今年度の取り組み、環境フェアへの取り組みについて
5月13日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会 新規モニターの案内や環境フェアの取り組みに向けて
5月17日(金) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	雑木林塾 運営会議 今年度の取り組みについて

ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメーリングリストも利用しています。お気軽にご参加ください。
お問合せは尾辻 (e-mail: kp5y-otj@asahi-net.or.jp) まで
◎ニュースレターが不要な方は環境保全課までご連絡ください。

その他の情報

■ フォトコンテスト作品募集

テーマは「私の好きな東京の川」

東京都では、7月の河川愛護月間関連行事として、平成11年度からフォトコンテストを開催しています。

○募集様式 写真サイズはキャビネ版以下

○応募方法 写真の裏面に撮影箇所、作品名、住所、氏名、電話番号を書き、下記まで郵送してください。作品は返却いたしません。

(あて先) 〒163-8001 東京都建設局河川部計画課環境計画担当係 電話：03-5320-5425(直)

○応募締め切り 6月15日(必着)

■ 源流・水干探訪の旅

源流研究所スタッフが、水干までの道をご案内します。一緒に水源林の中を歩いて、多摩川の最初の一滴を自分で確かめてみませんか。(主催：小菅村・多摩川源流研究所)

○日時 平成14年6月29・30日

○集合 29日(土)午前10時 JR奥多摩駅

○対象者 多摩川源流に関心があって、山歩きに自信がある方

○費用 1万3千円(宿泊費1泊3食付・保険・温泉代込)

○申込み・問合せ

小菅村役場 電話：0428-87-0111(佐藤)

小菅村観光協会 電話：0428-87-0741(亀井)

※この他にも「新緑の源流・大菩薩探訪の旅(6月8・9日)」「源流・古道水源林体験の旅(8月9～11日)」の企画があります。

◆ニュースレター編集作業◆

日程	内容	どなたでも参加できます。初心者でもパソコンの使い方なども含めて指導します。一緒にニュースを盛り上げましょう!
5月13日	編集会議	
5月20日	編集作業	
5月27日	発送作業	

場所未定、時間は13時30分から2～3時間程度
事前に環境保全課へお問合せください。

● 環境フェア開催!

～見直そう今までの暮らし、考えようこれからの暮らし～

日時：6月8日(土) 10:00～15:00

場所：調布駅南口前広場

市民、事業者、行政が協働して調布の環境への取り組みをPRします。ニュースレターでおなじみの活動グループも出展を予定しています。

(お問合せ) 調布市環境部環境保全課

編集後記

今回は編集作業を相談しながらできるよう、市役所で行いました。これからは、少しでも関心のある人が携われるようになります。第2～第4月曜午後1時半から、ニュースレター編集会議、編集作業、発送作業を行います。一緒にやってみませんか?最初はみんな初心者です。楽しく作業しましょう!◎

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 荒井・倉林

TEL：0424-81-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会